

日本共産党 和歌山市公議員

# ひめだ高広ニュース

NO.868

11.6.23

## 6月定例市議会報告



6月定例市議会が21日(土)から始まりました。

この日は、地震対策特別委員会(日本共産党からは松坂みち子、森下さち子議員)と環境保全対策特別委員会(渡辺忠広、南畑さち代議員)が設置されました。また、議案の説明が行われました。一般質問は、24日から、朝は10時から、昼は13時10分を開始。

## 雑がみ分別で一般ゴミ減量

市の一般廃棄物課(435・1352)から「雑がみの分別処理について」というビラが届きました。

市が家庭や事業所から出された一般ゴミの内訳を分

析したところ、紙類が2割から3割を占めており、その大部分が再生可能な紙類だったとのこと。市は、燃やしてしまうゴミの量を減らし、リサイクルを進め

るために、こちらの「雑がみ」と呼ばれる紙類を資源として分別することを市民・事業者にも願います。7月から配布の「ゴミ減量広報紙・リサイクル通信」でイラスト入りで説明する予定だということです。

☆再生できるもの

- ・お菓子などの紙類
- ・包装紙
- ・紙袋
- ・トイレットペーパーの芯
- ・コピー用紙
- ・学校のプリント等
- ・ダイレクトメール等の封筒
- ・カレンダー
- ・ホスタ
- ・等
- ・ティッシュペーパー

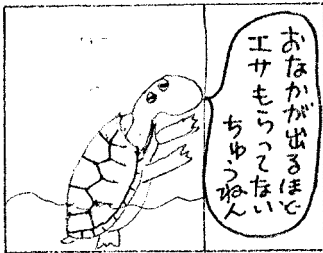
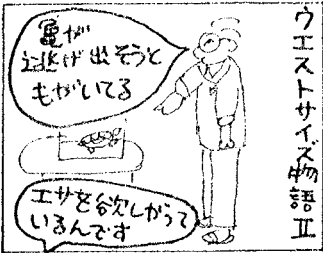
の空箱(金具など紙以外は取り除き、紙袋に入れて出してほしいとのこと)

★再生できないもの

## フリの人々



ウエストサイズ物語Ⅱ



・カップ麺、アイスクリーム等の紙製容器

・酒や常温保存飲料の紙パック

・圧着ハガキ

・洗剤など

## こんにちは

日本共産党の  
**ふじい健太郎**です。  
(その295)

森下市議と鳥獣被害の状況と対策について、山東地域の農家を訪問してきました。矢田のミカン農家では、家までイノシシが来ていたので、3、4年前に電気柵を10万円ほどかけて設置した。木枕ではイノシシ、アナグマ、アライグマ、カラスなどの被害があり、田畑の周り約800mを40万円ほどかけて電気柵を、伊太祁曾のミカン農家でも2年前に18万円ほどで電気柵を設置し、いずれ

の農家も今のところ効果はあるといわれています。また、費用の一部を市から補助してもらったが、イノシシの数が減ったわけではないので、根本的な対策ではない、もっと数を減らしてほしいといわれています。

県ではシカの駆除に力を入れ、効果が出てきているといわれていますが、和歌山市内ではイノシシ被害が増えています。和歌山市も本格的な対策に乗り出すことが求められています。



ふじい健太郎  
前県会議員

# 6月定例市議会・一般質問事項

順	議員名	質問事項
1	園内浩樹 (公明党)	・防災行政について、保健行政について、財政問題について
2	丹羽直子 (市民クラブ)	・児童虐待について、中学校給食導入について
3	永野裕久 (民主クラブ)	・教育行政について、消防行政について
4	西風章世 (公明党)	・障害者福祉について、防災行政について
5	小川孝夫 (絆クラブ)	・防災施策について、交通政策について
6	松坂みち子 (日本共産党)	・防災対策について、水道行政について
7	ひめた高宏 (日本共産党)	・防災問題について、公共交通について
8	山本忠相 (民主クラブ)	・子どもの居場所問題について
9	森下さち子 (日本共産党)	・農業政策について、防災対策について
10	南畑士ち代 (日本共産党)	・環境問題について、防災対策について
11	岩井弘次 (公明党)	・福祉政策について、防災政策について、環境政策について
12	苅本和己 (市民クラブ)	・市長の政治姿勢について、高齢者施策について、食の安全について
13	渡辺忠広 (日本共産党)	・防災対策について
14	遠藤富士雄 (絆クラブ)	・市長の政治姿勢について

1日3人ずつ質問します。1番目は10時~始まります。

## 漂流

日本共産党和歌山市会議員の部屋には、住みこみのカメがいます。このカメは和歌山特報紙に取材され、その勇姿が紙面をかざりました。

市議団受付嬢の岡本さんの特訓で、人の手から直接エサを食べるのことに、森下団長は「タイミンクが悪ければ指をかじらぬ」と言いながら嬉しそうにエサをやっています。水槽に近づくとエサをねだるそうですが、まあ私には、狭い水槽から脱出しようともかいていられないようにしか見えません。

## くんにちは

### 日本共産党

です



日本共産党はいま、志位和夫さん(現党委員長)と不破哲三さん(元党委員長)が講師となって「綱領・古典教室」をインターネット通信を使っ

ておこなっています。21日夜は、志位さんが講師で「ルールなき資本主義」といわれる日本社会の特殊な現状を告発しました。そのなかで、戦後の日本社会は、「アメリカ言いなり」がまかり通り、学校給食では70年代までパン食のみがおしつけられ、御用学者は「こは人を食べると頭が悪くなる」と言ったそうです。福島の原発でも、非常用発電機を地下に設置したのは、強烈な電巻やハリケーンが発生するアメリカの対策にならったからとのこと。原子炉建屋の地下に置かれた発電機は、津波に撃たれ、役に立ちませんでした。

## 聴覚障害の方々に話を聞く

6月21日(火)南畑さち代市会議員と一緒に私、ひめたは、6月議会の一般質問に関して、和歌山県聴覚障害者協会を訪ねて話を聞かせてもらいました。

震災時には聴覚障害者にとって最も情報不足が心配だとか。その点では「アイ・ドラゴン」というCS障害者放送専用受信機がある。聴覚障害は見た目ではわからないので、意思の伝達がむづかしいが筆談を使えばコミュニケーションが図れることを世間にもっと知ってほしいとのことでした。